## 24 年度医学部入試情報

# 24 年度医学部入学定員、前年度より68 人(0.8%)増の8,991 人に!

「地域枠」14 大学・65 人増、「研究医枠」2 大学・3 人増。被災地の東北大(5 人増)・福島県立医科大(15 人増)は定員上限の 125 人に。

旺文社 教育情報センター 23年12月12日

文科省は23年12月9日、医師不足や地域偏在、診療科の偏りなどで社会的問題となっている医師養成について、「新成長戦略」(22年6月閣議決定)等を踏まえ、24年度医学部入学定員の増員計画を"22年度・23年度と同様の枠組みで緊急臨時的"に認めるとし、各大学の入学定員増計画を公表した。

以下に、医学部定員増のこれまでの経緯と定員増の推移、24 年度定員増計画の枠組みの概要などをまとめた。

### <24 年度医学部入学定員の増加>

- 医学部の入学定員については、昭和 57(1982)年及び平成 9(1997)年の閣議決定により、 平成 19(2007)年度まで"抑制策"が講じられ、平成 15(2003)年度~19 年度の入学定員は 7.625 人であった。
- しかし、医師不足や地域医療などの問題が深刻になり、①20 年度=7,793 人(『新医師確保総合対策』(『新対策』: 18 年 8 月)と『緊急医師確保対策について』(『緊急対策』: 19 年 5 月)に基づく)→②21 年度=8,486 人(『緊急対策』及び政府の『経済財政改革の基本方針 2008』(『骨太対応』: 20 年 6 月閣議決定)に基づく)→③22 年度=8,846 人(「地域枠」「研究医枠」「歯科振替枠」に基づく)→④23 年度=8,923 人(「地域枠」「研究医枠」「歯科振替枠」に基づく)と、これまで4回にわたり増員されてきた。
- 24 年度についても、22・23 年度と同様の枠組み、つまり、「地域枠」「研究医枠」「歯科振替枠」において、緊急臨時的に 68 人の入学定員増計画が認められ、全体では過去最多の 8,991 人となる。(表 1 参照)

ハチュナリのの左右・一巻ウミ桜の地名の大きず 柳南

### ● 国公私立大別の24年度入学定員増の枠組み(計画:概要)

	23年度	24年度入学定員 增員数(計画)								24年度入学
	入学定員(人)	①「地域枠」 増(人)		②「研究医枠」増(人)		③「歯科振替枠」増(人)		合 計(人)		定員(計画:人)
国立大(42)	4,843	14	(5)	0	(0)	0	(0)	14	(5)	4,857
公立大 (8)	817	15	(1)	2	(1)	0	(0)	17	(2)	834
私立大(29)	3,263	36	(8)	1	(1)	0	(0)	37	(9)	3,300
合 計 (79)	8,923	65	(14)	3	(2)	0	(0)	68	(16)	8,991

注. 表中のカッコ内は大学数。私立大については募集人員増を含む。(文科省資料より)

(表 1)

#### <定員増に係る3つの「枠組み」>

- ① 「地域枠」: 地域医療への従事を条件とした "<u>奨学金、選抜枠の設定(地域枠)</u>"を行う大学の入学定員の増員。23 年度は 59 人(自治医科大の増員含む)。
- ② 「研究医枠」:複数大学の連携により"研究医養成"の拠点を形成する大学の入学定員の増員。23年は6人。
- ③ 「歯科振替枠」: "<u>歯学部入学定員を減員</u>" する大学についての医学部入学定員の増員。 23 年度は 12 人。

#### <増員期間>

○ 上述した 20 年度・21 年度の入学定員の増員(『新対策』『緊急対策』、及び『骨太対応』) 期間は平成 29 年度までだが、22 年度から実施されている "3 つの枠組み"による増員期間は 31 年度までとされている。

#### <被災地における大学の対応>

今回の医学部入学定員増計画では、東日本大震災や原発事故の被災地における定員増等が 注目されていた。

- 東北大: 23 年度入学定員 120 人 → 24 年度 125 人(4.5%増)にし、宮城県の「地域枠」を 5 人増員。また、東日本大震災の経験を基に、1 年次で災害医療に関する基礎知識修得を図るとともに、2、5、6 年次で行う各種医療実習では、震災被害を受けた病院等に訪問・実習等を行うとしている。
- 福島県立医科大:23年度入学定員 110人 → 24年度 125人と、前年度より 15人(13.6%)の大幅な「地域枠」(福島県)増を計画している。

ただ、この増員は3・11の大震災、原発事故以前から、地域住民・自治体・大学の連携等による地域医療支援策などとして構想されていたようである。今回の増員については、25年度開設予定の会津医療センターにおける地域密着型の臨床実習の取組み等を通して、医師の地域定着を図っていくようだ。

被曝医療などへの対応は、同大医学部の入学増員増にとどまらず、多面的、かつ長期的な視点にたった総合的な対策が求められよう。

#### く今後のスケジュール>

文科省は23年12月9日に今回の増員計画を大学設置・学校法人審議会に諮問しており、 同審議会は各大学の審議を行い、12月16日には答申及び回答がなされる予定である。

\* \* \*

各大学の増員計画に係る取組みの概要や入学定員の推移については、文部科学省のホームページ(下記 URL)を参照されたい。

http://www.mext.go.jp/b\_menu/houdou/23/12/1313980.htm